

令和7年度学校関係者評価シート(中間評価)

令和7年 10 月 30 日

校番	202 127	学校名	広島観智学園中学校・高等学校	校長氏名	吉村 薫	☒ 全・定・通	☒ 本・分
----	------------	-----	----------------	------	------	---	---

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	○ 目標、指標、計画等の設定は適切であると評価する。なお、目標達成があった場合の上方修正もあって良い。 ○ 目標、指標、計画等は昨年実績などより総合的に設定されており適切であると思います。 ○ 適切に設定されている。新規に指標を設定するなど、意欲的な改善が見られる。
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	○ 計画の進捗状況の評価については、アンケートなどを用いて適切に行われている。 ○ 自己評価シートや学校側からの説明により、適切であると思う。 ○ 適切に評価されている。評定の記載に当たっては、できるだけ基準とセットで書いてあったら判定しやすい。厳格に基準を適用せず、柔軟に肌感覚を含めて評価すると実態に近づくだろう。
目標達成に向けた取組の適切さ	A	○ 目標達成に向けた取組については、考えられる最も適切な対応で行われていると評価する。 ○ 目標も高く設定されており目標達成に向けて順調に取り組んでいると思う。 ○ 具体的な数値(回数や頻度も含めて)があるほうがわかりやすいと感じた。 ○ 課題に対して適切な取組が行われている。研修体系、個別面談、寮生活の指導など、段階的に改善が図られている。
評価結果の分析の適切さ	A	○ 評価結果の分析については、適切に行われており異存ないものの、アンケートなどさらに別の見方から面白さを分析する発見があっても良いと思った。 ○ 中間評価でもあり難しいとは思いますが、しっかり分析はできているように思う。 ○ 非常に細かく丁寧に分析されていると感じた。
今後の改善方策の適切さ	A	○ 今後の改善方策については、考えられる方法により適切に行われていると評価する。 ○ 評価シートも具体的でありわかりやすく記載されており、改善策も説明されて今後も期待できると思う。 ○ 具体的な数値(回数や頻度も含めて)があるほうが目標に近づけやすいと感じた。学校だけで完結する改善方法だけでなく、外部の専門家などの視点からも入れてはどうか。 ○ 改善計画は適切である。より地域に、島内に根ざし、世界に目を開く活動を展開してもらいたい。
総合評価	A	○ 今後も目標、指標に沿って推進していただきたい。なお、第 1 期生の大学生活における印象など、IB教育で育ち大学に入ってどのような日々の感想を持っているのか興味がある ○ 中間評価シートの説明はとてもわかりやすく内容も理解できた。もっと自信を持った評価であっても良いと思う。 ○ 全体的に見て、分析に対する改善方策の内容が弱いように感じた。 ○ 教員の育成、研修計画、特にコーディネーターの育成プロセスを体系化し、発信してもらいたい。県の職員として他校に異動後も、長く活きて働く資質・専門性をこの学校で養っていただきたい。 ○ リーダーシップ像を生徒の間で言語化・概念化する活動に取り組んでももらいたい。概念の共有化と個別化の双方を意識すると良いだろう。